

# 国土交通省における 再生方策等の取組状況

---

# 有明海・八代海等の海域環境改善のための体制

- ・海域環境改善への貢献のため、平成24年4月から海洋環境整備船「海輝」の配備により、2隻体制に強化。
- ・漂流ごみの予測を行うことにより、「海輝」、「海煌」の効率的な運用を確保。合わせて、環境モニタリングを実施。
- ・「令和2年7月豪雨」では16,115m<sup>3</sup>(10tトラック約3,231台分、昨年度1年間1,353m<sup>3</sup>の約12倍)の漂流ごみを回収。

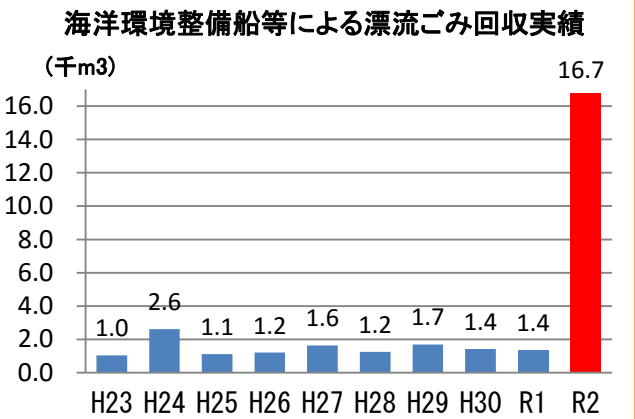


※基地港は、海輝が熊本港、海煌が八代港。  
 ※小型船は、海煌に搭載。

### 漂流ごみの回収(海面清掃)

・定期的に海域を巡回し、漂流ごみを回収することで、有明海・八代海等の海域環境改善に貢献。

海洋環境整備船		海輝	海煌
船体諸元	全長	27.0m	35.0m
	全幅	9.0m	11.0m
	喫水	1.2m	2.2m
ごみ回収コンテナ	7.5m <sup>3</sup> ×2個	7.5m <sup>3</sup> ×4個	
航行限界波高	0.6m	1.5m	
作業限界波高	0.6m	0.8m	
航行速力	約27ノット	約14ノット	
総トン数	99トン	195トン	



※漂流ごみの量は台風や大雨の状況、流域の状況等に(年度)より変化。

## 有明海・八代海等再生の環境調査

- ・漂流ごみの回収にあわせて、「水質・流況調査」「底質・底生生物調査」を実施。
- 【調査結果の活用】
- ・ごみの集まりやすい場所を予測するなど、漂流ごみの効率的な回収の実施に活用。
- ・調査結果をHPで公表すると共に、環境基礎データとして、研究者や他省庁等と共有。



海面上に集まる漂流ごみ



「令和2年7月豪雨」での対応状況

# 海域の水質保全のための下水道整備、河川における土砂動態調査

## ・ 海域の水質保全のための下水道整備に対する支援

### 【目的】

- ・ 貧酸素水塊の軽減、海域等における水質環境基準の達成・維持に向けた汚濁負荷量の削減

### 【支援内容】

- ・ 地方公共団体が実施する下水道整備について、社会資本整備総合交付金等により支援



下水道管渠の布設（整備）状況

## ・ 河川における土砂動態調査

### 【目的】

- ・ 河川からの土砂流出状況の把握

### 【調査内容】

- ・ 河川から海域へ供給される土砂についての調査
- ・ 河口域における土砂挙動等の調査及び流域全体の土砂収支の精度向上



河床堆積構造調査（コアサンプリング）状況